

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切あるか	6	2	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	
	③	事務所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	1	0	
業務改善	④	業務改善を進めるためのを進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか	0	5	3	
	⑤	保護者等向け評価表を活用するによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	4	自己評価より実施
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やHPで公開しているか	7	0	1	HPにて公開中
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に役立てているか	3	2	3	運営推進委員会で評価を行っている
	⑧	職員の資質向上のため研修の機会を確保しているか	6	1	1	月一の内部研修 時々外部研修
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で放課後等デイサービス計画書を作成しているか	3	4	1	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るため、標準化されたアセスメントシートを使用しているか	1	5	2	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3	3	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	0	5	3	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	1	3	4	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別指導と集団活動を適宜組み合わせ放課後デイサービス計画を作成しているか	1	4	3	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	1	4	3	毎朝の朝礼で行っている
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	3	4	1	業務終了前に当日の振り返りをしている
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	2	1	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	2	5	1	

	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	2	2	4	職員に厚生省のHPにガイドラインがあるので読んでおくように指導した
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参加しているか	6	1	1	
	㉑	学校との情報共有、連絡調整を適切に行っているか	3	2	2	
	㉒	医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	4	0	ケース無
	㉓	就学前に利用していた保育所等、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	3	ケース無
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容の情報を提供しているか	6	1	1	共生型のため卒業後も引き続き同施設を利用している
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4	3	発達障害メインのケース無
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	1	1	6	
	㉗	(自立支援)協議会へ積極的に参加しているか	0	1	7	
	㉘	日ごろから子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	6	2	0	送迎時の保護者との会話を通して共通理解を深めている
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者にペアレントトレーニング等の支援を行っているか	0	2	6	介護職が多いため保護者への子育て支援ができていない
	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	5	2	1	
保護者への説明責任等	㉑	保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	4	4	0	傾聴による支援
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	1	7	利用者少数なこともあり手つかず
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	2	0	苦情窓口を設置している
	㉔	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に発信しているか	5	2	1	定期的にもみじ新聞を発行している
	㉕	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	
	㉖	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮しているか	7	1	0	
	㉗	事業所の行事に地域住民を招待する等の地域に開かれた事業所運営を図っているか	0	4	4	地域に住むボランティアにきてもらったりしている

非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	4	0	マニュアルはあるが、保護者への周知はしていない
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出等の訓練を行っているか	6	1	1	毎年避難訓練をしている
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等適切な対応をしているか	1	3	4	今後、内部研修で研修を行う
	④⑪	身体拘束を行う場合、組織的に決定し、保護者に説明し了承を得たうえで計画書に記載しているか	4	3	1	マニュアルあり ケース無
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	4	3	1	ケース無
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか	8	0	0	

回答時期：2020年2月27日～3月6日 配布8 有効回答8

回答者：生活相談員2名 介護職員3名 看護師（非常勤）3名 計8名

今年度のケース内訳は、重度の知的障害+身体障害1ケースのみ。他事業所がメインでもみじの利用は不定期であった。重度の障害をもつ子どもだったため、排泄介助などの生活面や身体の介護が主体で、教育的援助を希望するケースはなかった。

全体として他職種がしている仕事や自分の勤務時間外に行われている仕事に対してあまり認知できていない印象。内部研修等で勉強はしているが、理解が進んでいないケースもみられる。

ささいなことでも情報を共有していくことが大事。また、他職種を含め施設全体としてどのようにデイサービスを運営しているかを一通り理解しておこう。